

台車式電動引戸

取付説明書（ジャンボスライド1～4型、グランスルー2型）

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

＜施工の前に＞

①正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読み下さい。

②設置場所の確認

- ①施工場所に寸法的に正しく納まるか確認して下さい。
- ②強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道等の施工は避けて下さい。
- ③引戸の通り路に障害物がないか確認して下さい。

③規格表、梱包明細で必要な部材、部品が揃っているか確認して下さい。

④組立、施工途中では

- ①ボルト、ボスは弊社純正商品の規定本数を確実に締付け固定して下さい。
- ②取付説明書の順序通り組付けて下さい。製品の強度等、性能を低下させる場合が発生します。
- ③アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにして下さい。

＜工事店様へ＞

①電動装置施工の際、下記工具が必要となりますので予めご用意下さい。

- ①M8及びM12オールアンカー用コンクリートドリル
- ②φ3.5下孔用電動ドリル

⑤基礎工事について

- ①基礎寸法は、取付説明書の通りの寸法として下さい。地盤の種類によっては、倒壊の危険性が発生します。
- ②基礎コンクリートには、塩分を含む砂、および塩素系のモルタル混和剤を使用しないで下さい。

⑥この商品は、過電流保護付き漏電ブレーカーの設置とアース工事(第三種設置工事)が必要です。

電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼して下さい。

⑦製品の改造は絶対に行わないで下さい。

⑧施工完了後は

- ①ボルト、ビス等に緩みがないか確認して下さい。
- ②施工中の汚れは取り除き、誤ってつけたキズは、補修塗料をして下さい。

⑨施工終了後、取付説明書は取扱説明書といっしょに施主様にお渡し下さい。

＜施主様へ＞

使用前に必ず＜取扱説明書＞をお読み下さい。

■梱包明細書

■本体セット

名 称	員 数	
	片引き	両引き
①引戸本体	1	2
②転倒防止金具	4	8
③転倒防止金具取付ネジ M6×15六角ボルト(Wセムス)	8	16
④前ストッパー	1	2
⑤後ストッパー	1	2
⑥戸当り板	1	2
⑦補強板	1	2
⑧戸当り板固定ボルト M8×65六角ボルト	2	4
⑨戸当り板固定ナット M8用	2	4
⑩戸当り板固定座金 M8用	2	4
⑪ストッパー固定アンカー M10×70	8	16

■センサー柱セット

名 称	員 数	
	片引き	両引き
③⑥センサー柱(投光側)	2	2
③⑦センサー柱(受光側)	2	2
③⑧柱キャップ	4	4
③⑨センサーフード	4	4
④⑩センサー柱取付アンカー M8×70	16	16
④⑪柱キャップ取付ネジφ4×10トラス	8	8
④⑫センサーフード取付ネジ φ4×10トラス	16	16

■センサーケーブルセット

名 称	員 数	
	片引き	両引き
④⑬センサーケーブル	2	2
④⑭連結ケーブル	—	1

■オプション

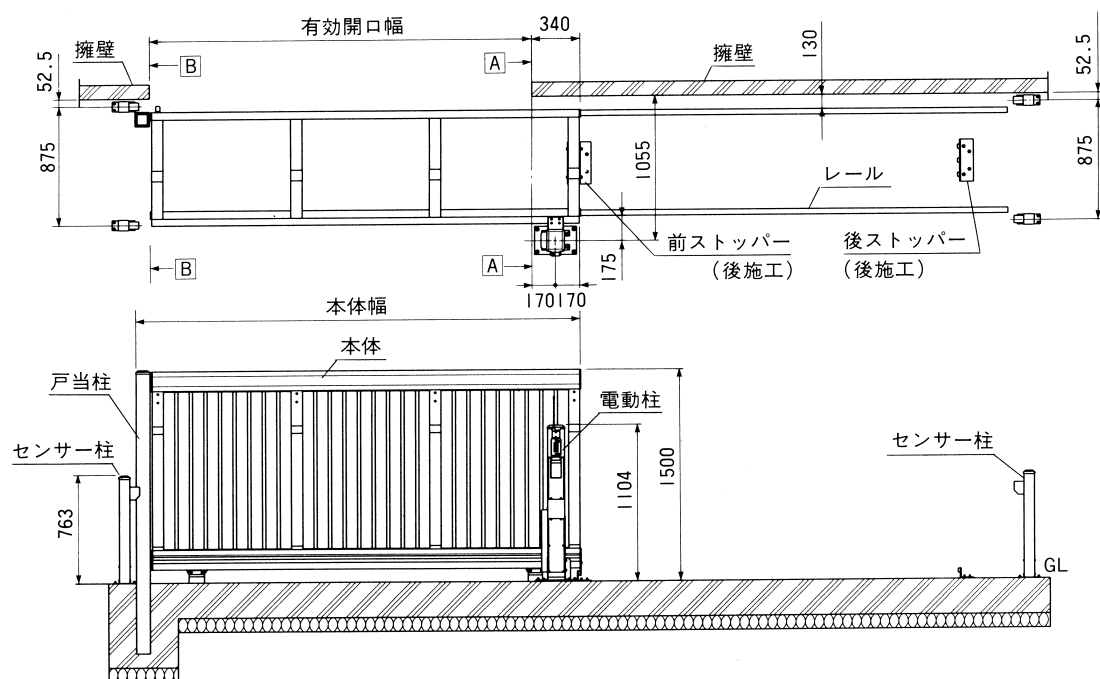
名 称	商品コード
④⑮リモコン送信器セット	KYZ73
④⑯アンテナ延長ケーブルセット	KYZ81
④⑰外部押ボタンスイッチセット	KUK41

■電動柱セット

名 称	員 数	
	片引き	両引き
⑫電動柱セット	1	2
⑬ベースプレート	1	2
⑭調整用スペーサー	8	16
⑮電動柱固定アングル	2	4
⑯埋設ケーブル固定ブラケット	1	2
⑰埋設ケーブルカバー	1	2
⑱マグネットスイッチ	2	4
⑲押えローラーセット	1	2
⑳リミットスイッチスペーサー (ノンレール式電動引戸のみ使用)	—	—
㉑アンテナ	1	2
㉒リモコン送信器	1	2
㉓手動電動切替用六角棒スパナ	1	2
㉔ベースプレート固定アンカー M12×100	4	8
㉕電動柱取付ボルト M8×20六角ボルト(Wセムス)	8	16
㉖電動柱固定アングル取付ボルト M8×15六角ボルト(Wセムス)	4	8
㉗埋設ケーブル固定ブラケット取付ネジ φ4×10トラス	4	8
㉘埋設ケーブルカバー取付ネジ φ4×10トラス	4	8
㉙マグネットスイッチ取付ネジ M4×8ナベ(Wセムス)	4	8
㉚押えローラー取付ボルト M6×15 六角ボルト(Wセムス)	4	8
㉛リミットスイッチスペーサー取付ネジ φ4×40 (ノンレール式電動引戸のみ使用)	—	—
㉜取付説明書(台車式電動引戸用)	1	2
㉝取付説明書(ノンレール式電動引戸用)	1	2
㉞施主様用取扱説明書(電動引戸用)	1	2
㉟保証書	1	2

1.基本納り寸法

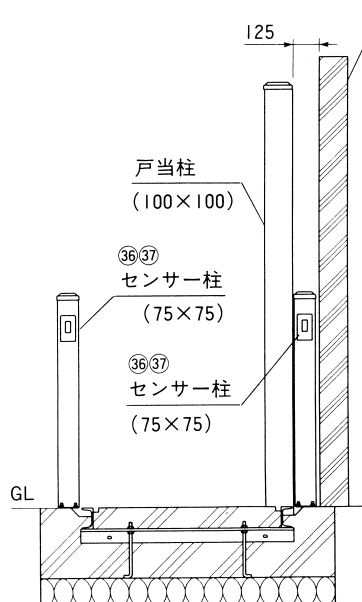
●ジャンボスライド片開き



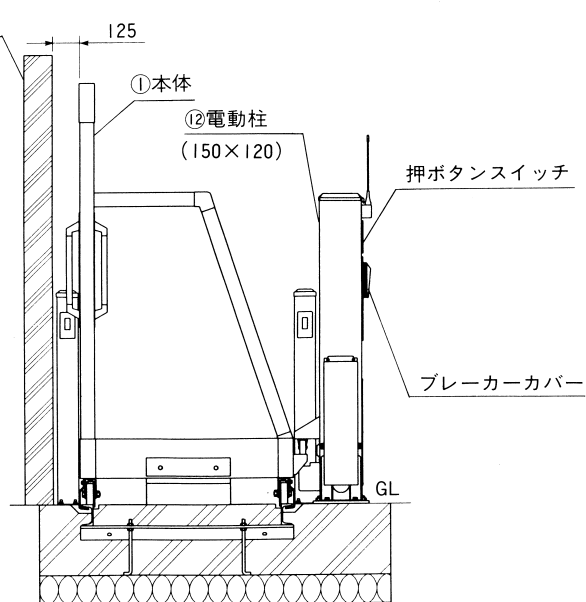
片開き

呼 称	本体幅	有効開口幅
W : 20	2060	1720
W : 30	3050	2710
W : 40	4040	3700
W : 50	5030	4690
W : 60	6020	5680

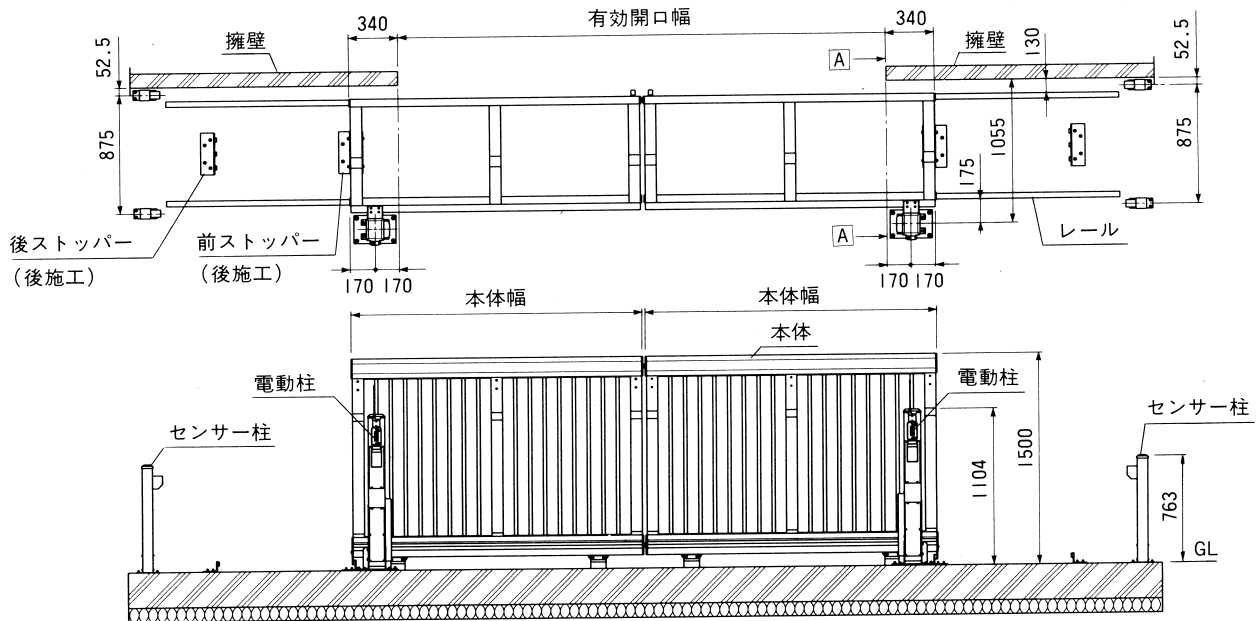
■B 矢視図



■A 矢視図



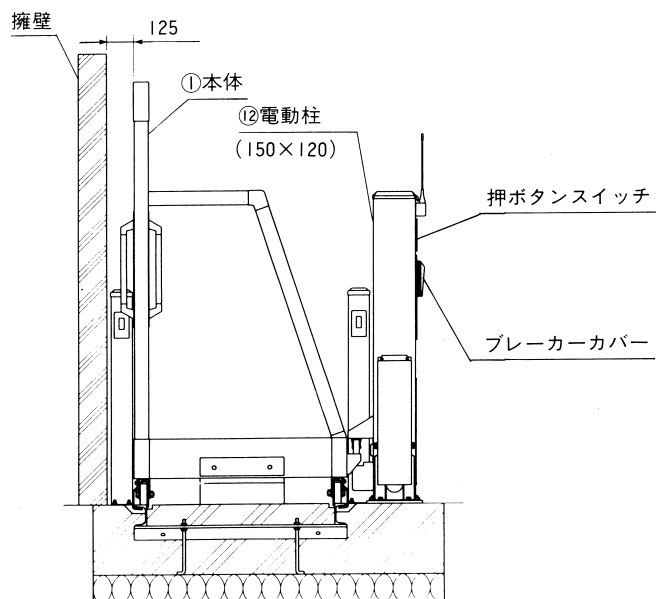
● ジャンボスライド両開き



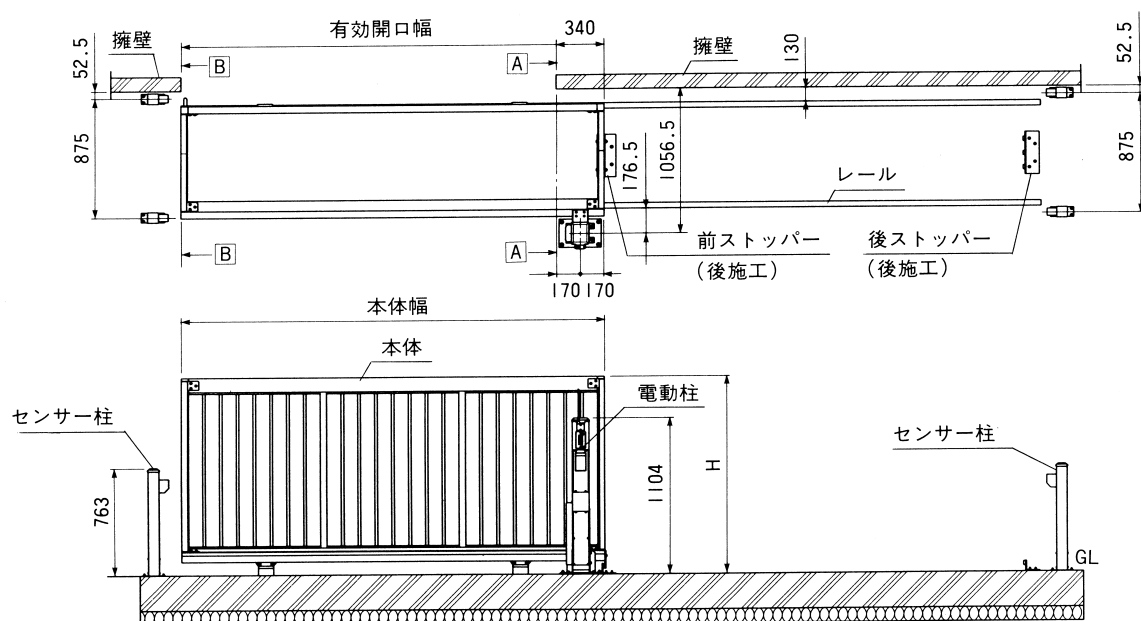
両開き

呼 称	本体幅	有効開口幅
W : 20-20	2060 × 2	3440
W : 30-30	3050 × 2	5420
W : 40-40	4040 × 2	7400
W : 50-50	5030 × 2	9380
W : 60-60	6020 × 2	11360

A 矢視図



● グランスルー 2 型片開き



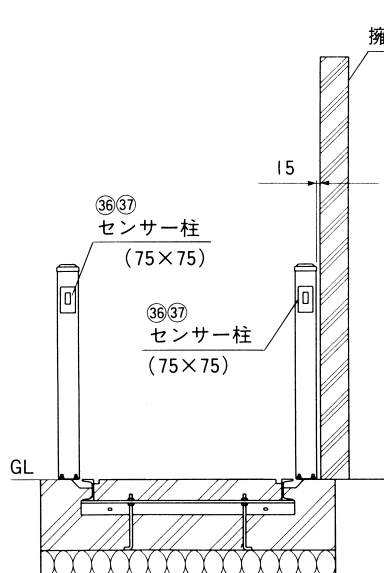
片開き

呼 称	本体幅	有効開口幅
W : 20	2026	1686
W : 30	3012	2672
W : 40	3998	3658
W : 50	2026 + 3012	4698
W : 60	3012 + 3012	5684
W : 70	3012 + 3998	6670
W : 80	3998 + 3998	7656

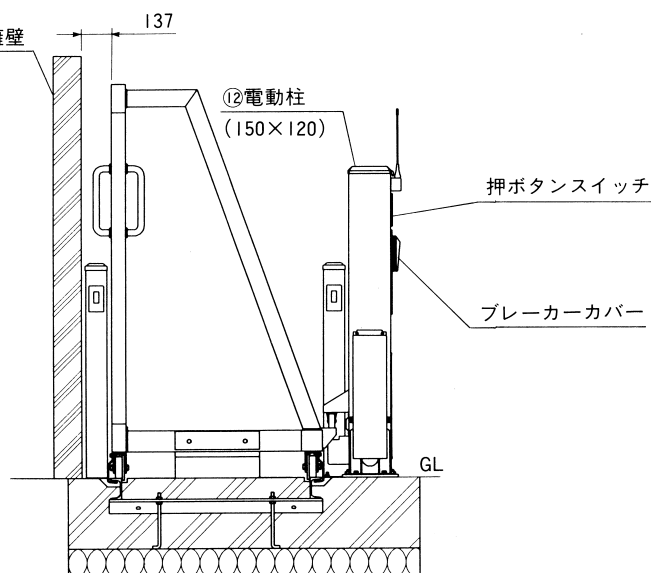
高さ

H : 12	1200
H : 14	1400
H : 16	1600

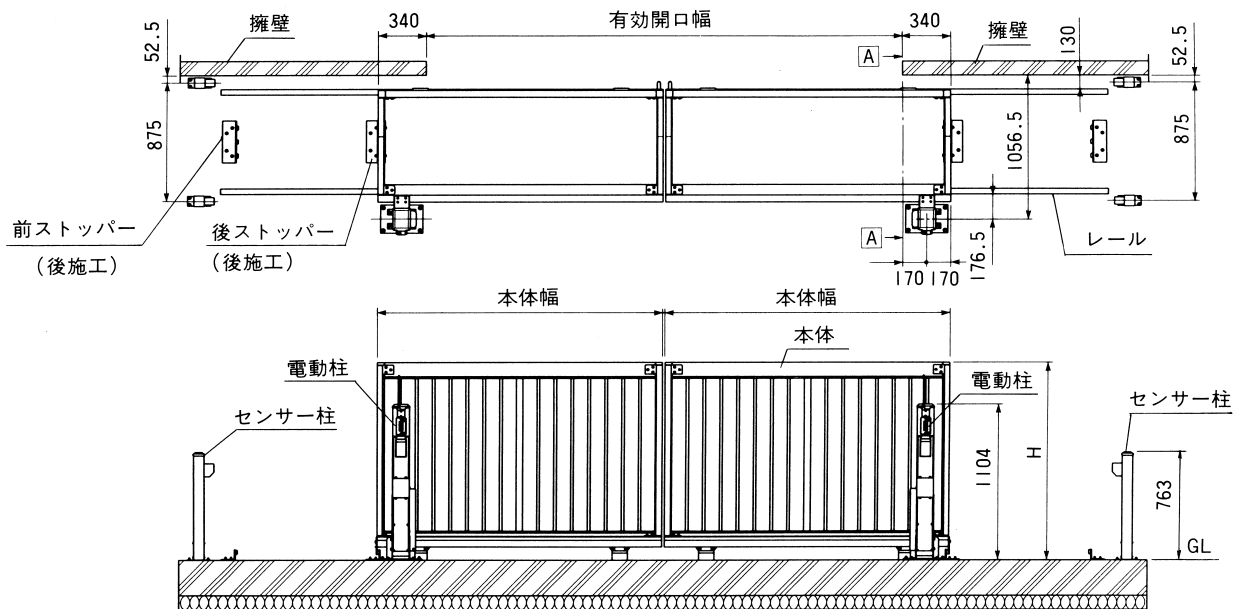
■ B 矢視図



■ A 矢視図



● グランスルー 2 型両開き



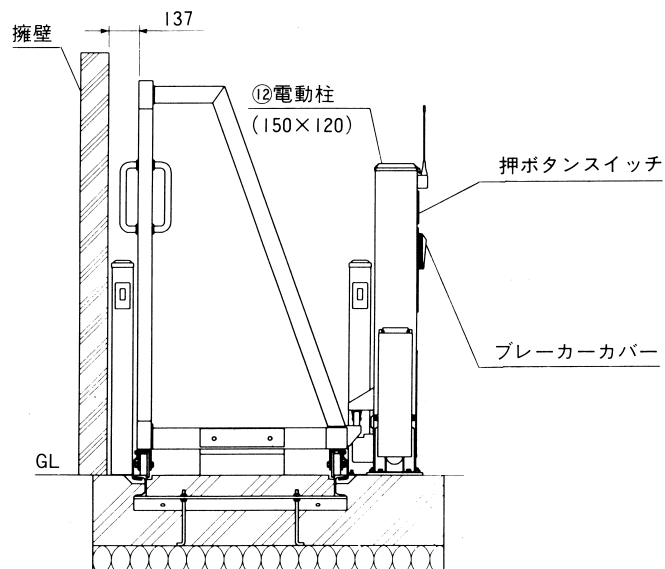
両開き

呼 称	本体幅	有効開口幅
W : 20-20	2026 × 2	3372
W : 30-30	3012 × 2	5344
W : 40-40	3998 × 2	7316
W : 50-50	(2026 + 3012) × 2	9396
W : 60-60	(3012 + 3012) × 2	11368
W : 70-70	(3012 + 3998) × 2	13340
W : 80-80	(3998 + 3998) × 2	15312

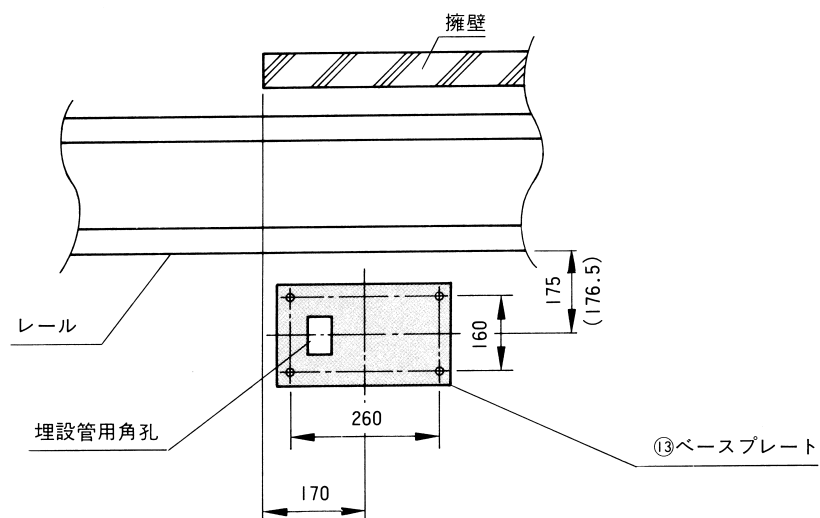
高さ

H : 12	1200
H : 14	1400
H : 16	1600

A 矢視図

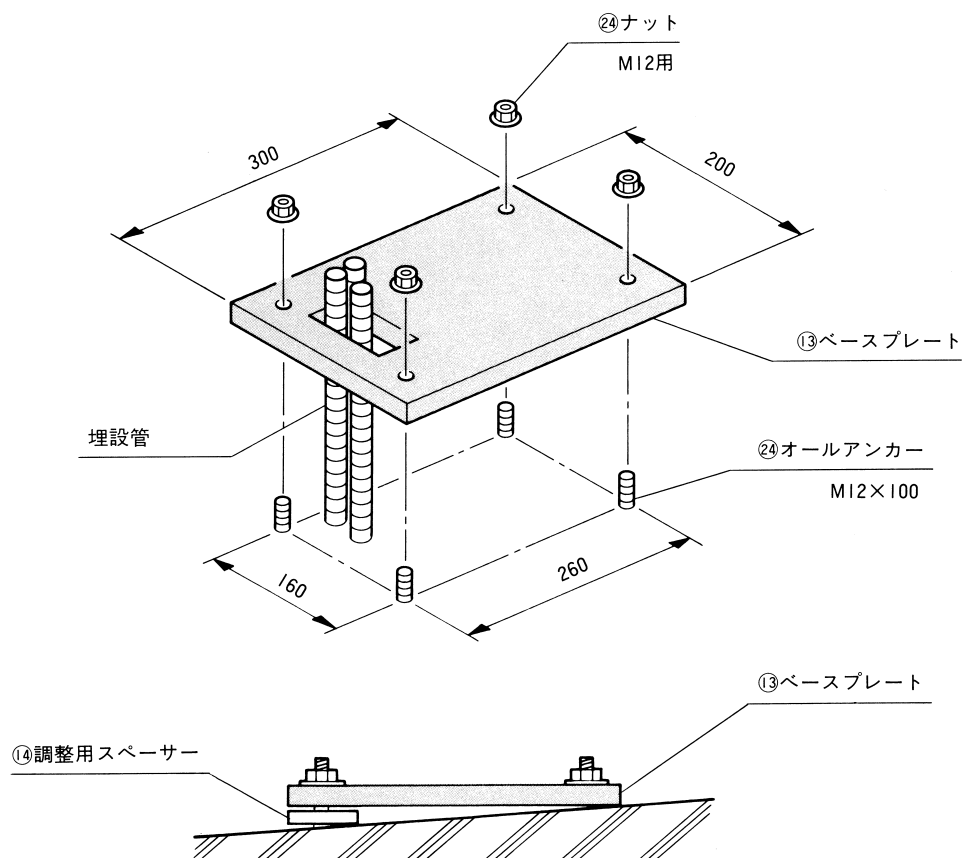


擁壁



()内寸法はグランスルー 2 型を示す

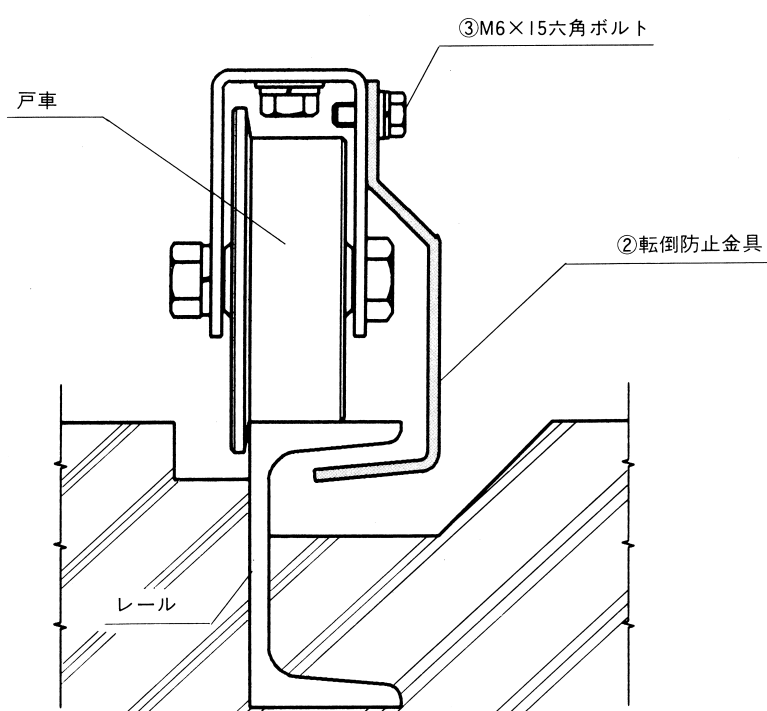
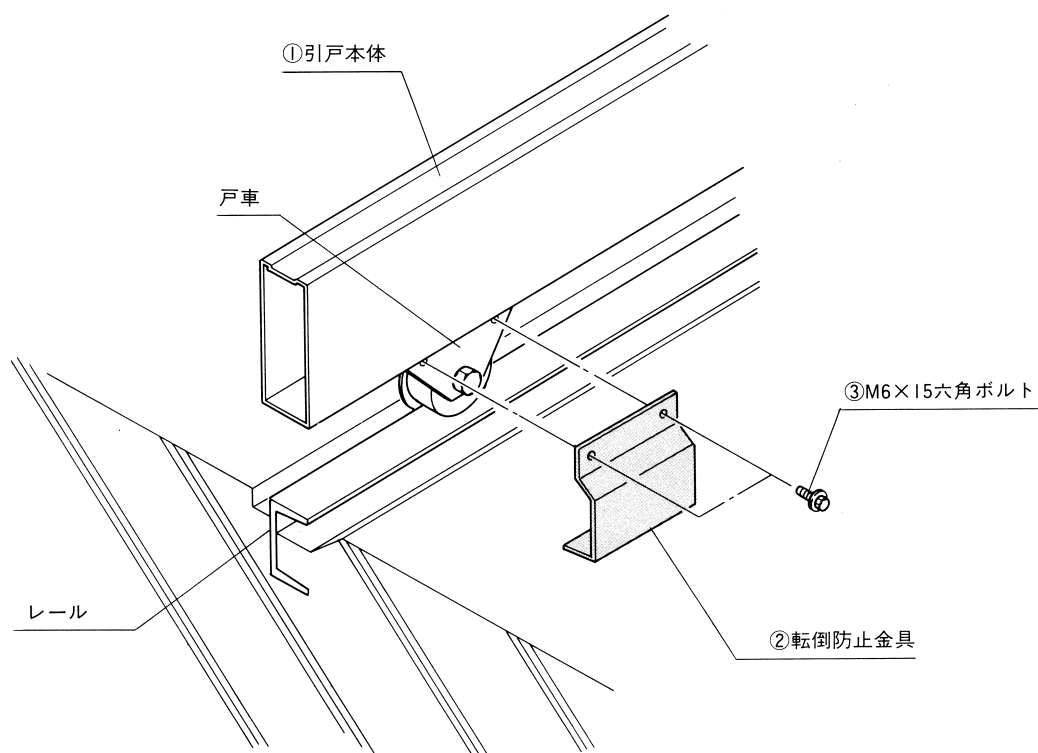
- 下記寸法にて孔を開け、オールアンカーを打ち込んで下さい。
ベースプレートを取付ける際、埋設管をベースプレートの角孔に通して取付けて下さい。



- ベースプレートの水平がとれていない場合には、同梱の調整用スペーサーで水平が出る様調節して下さい。

3. 転倒防止金具の取付け

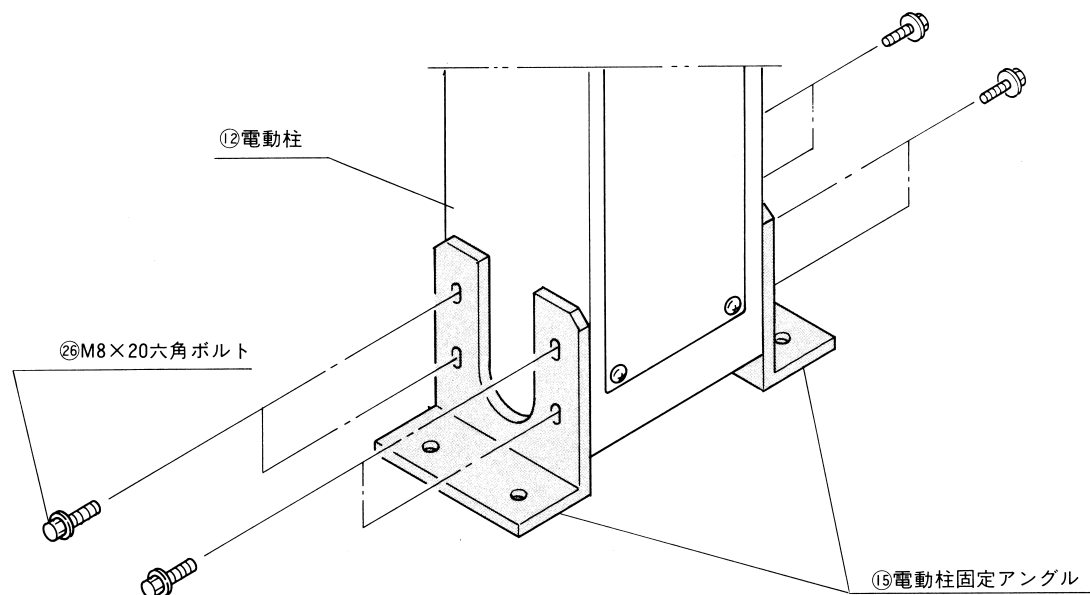
- 引戸本体をレールに乗せましたら転倒防止金具を取付けて下さい。



4. 電動柱の取付け

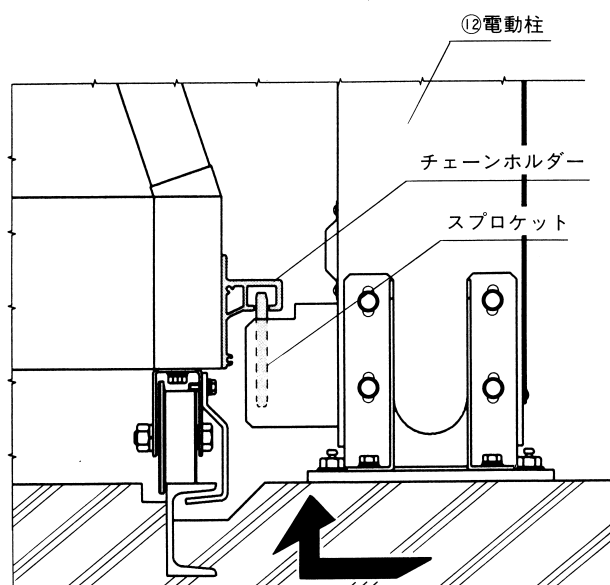
① 柱固定アングルの取付け

- 電動柱に電動柱固定アングルを仮止めして下さい。



② 柱の取付け

- 電動柱のスプロケットがチェーンホルダーにぶつからない様の下からくぐらせるようにしてベースプレートに取付けて下さい。



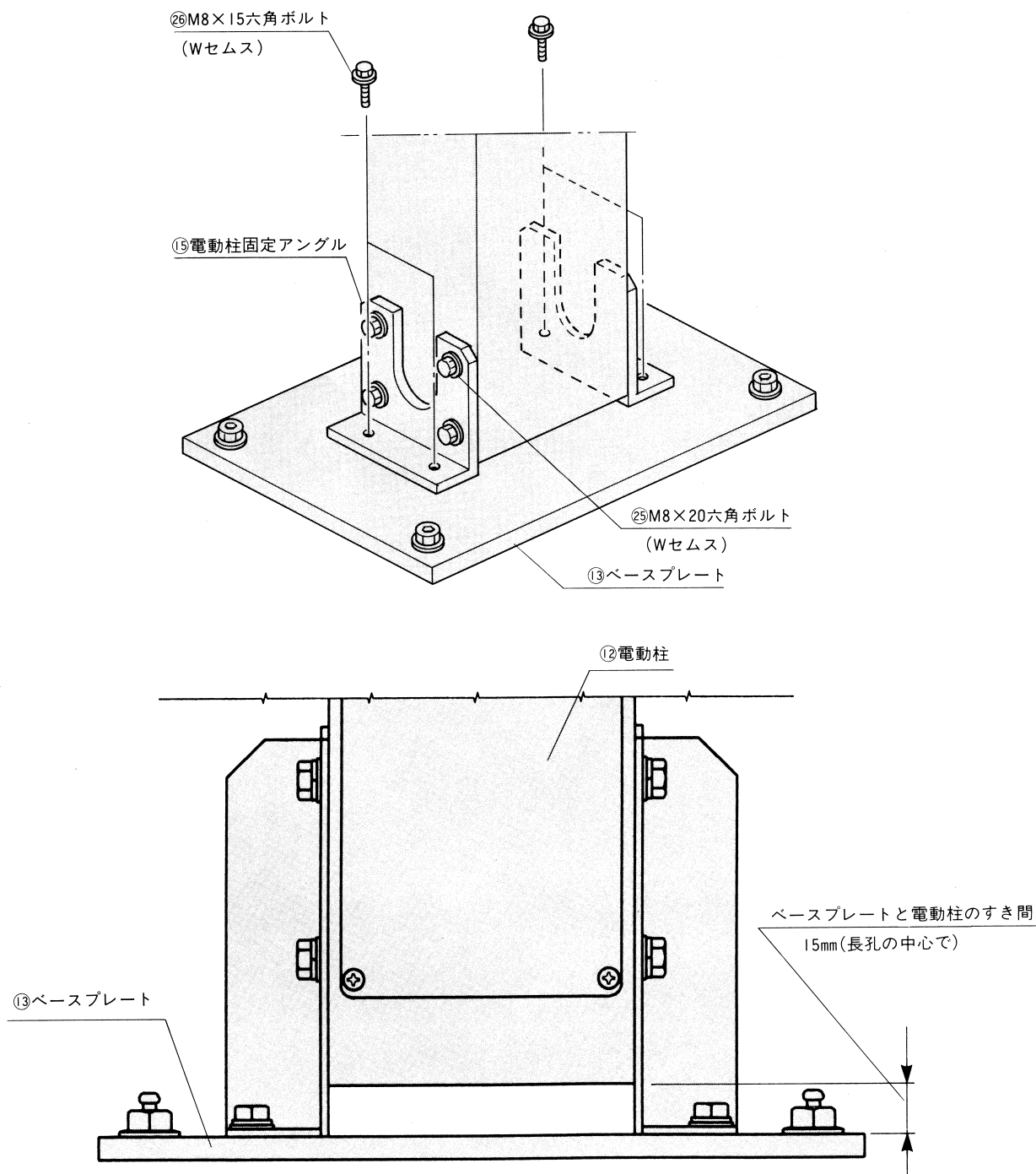
③柱の固定

- 電動柱をベースプレートに固定して下さい。

次に仮止めしてある電動柱固定アングル取付ボルト(M8×20六角ボルト)を固定して下さい。

取付け孔は長孔になっていますが、標準位置は長孔の中心になります。

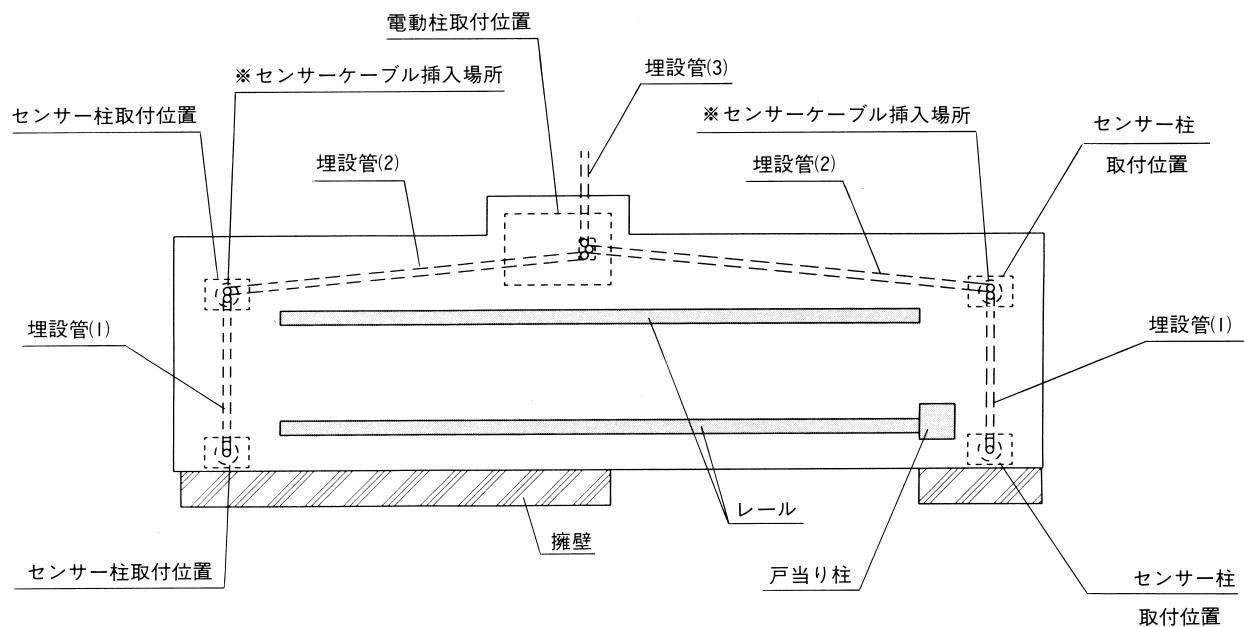
又、その時のベースプレートと電動柱のすき間は15mmになります。



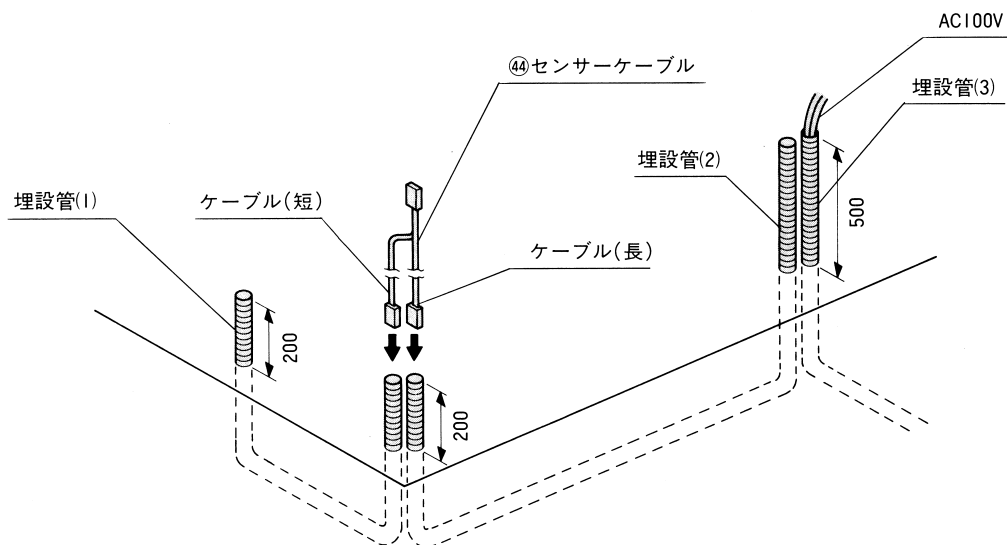
※あらかじめ15mm厚の板等をはさんでおいてから取付けると柱の垂直等、微調整がやりやすくなります。

5. ケーブルの配線方法

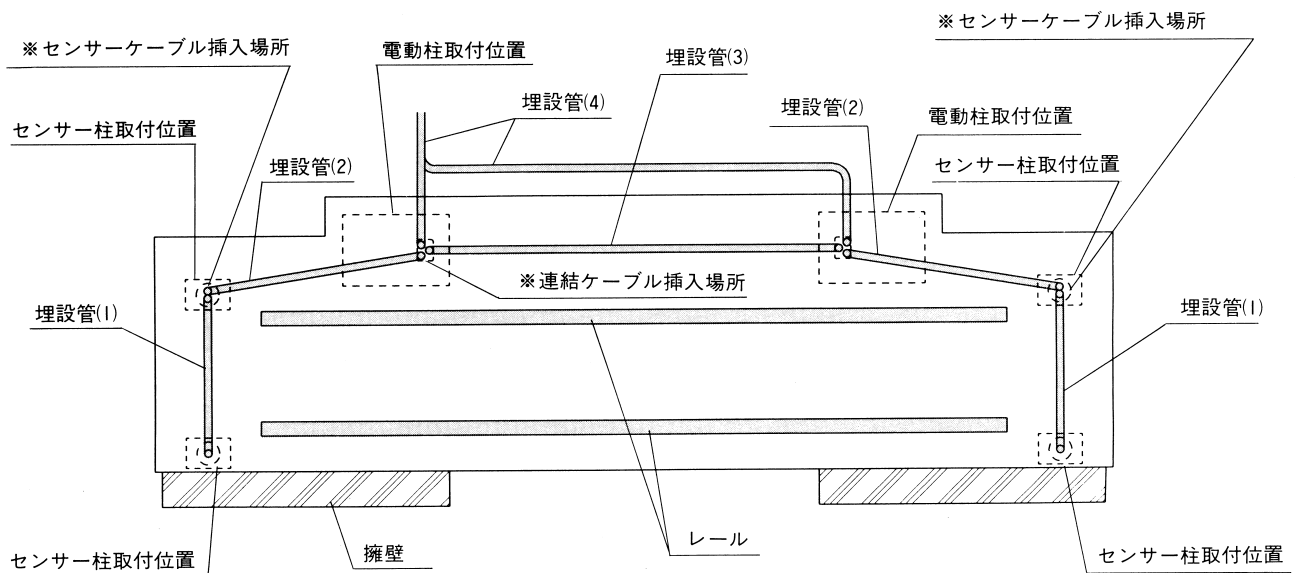
片開き



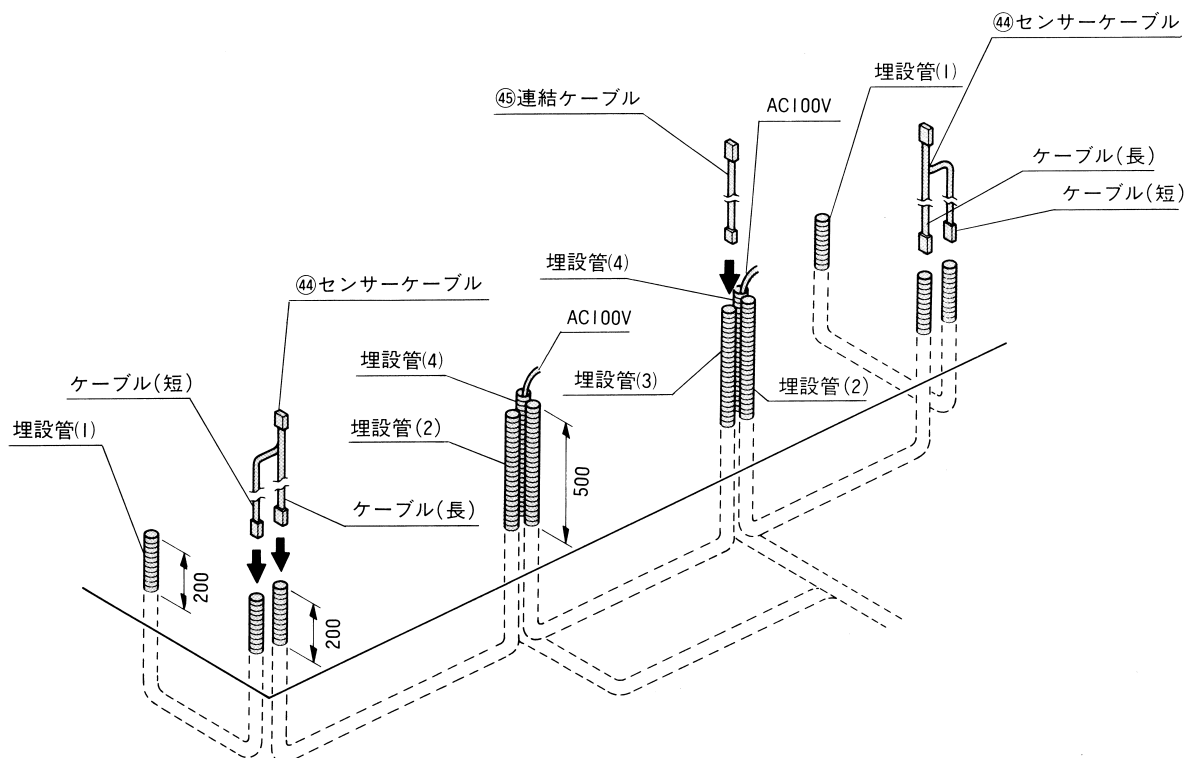
- 指示した場所より、センサーケーブルを埋設管に通して下さい。
その際、短い方のケーブルを埋設管(1)に、長い方のケーブルを埋設管(2)に通して下さい。



両開き



- 指示した場所より、センサーケーブル、連結ケーブルを埋設管に通して下さい。
センサーケーブルは、短い方のケーブルを埋設管(1)に、長い方のケーブルを埋設管(2)に通して下さい。

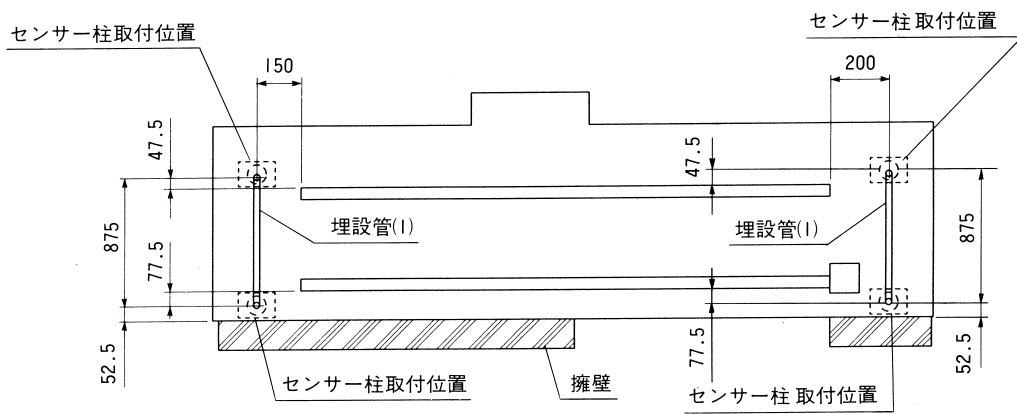


6. センサー柱の取付け

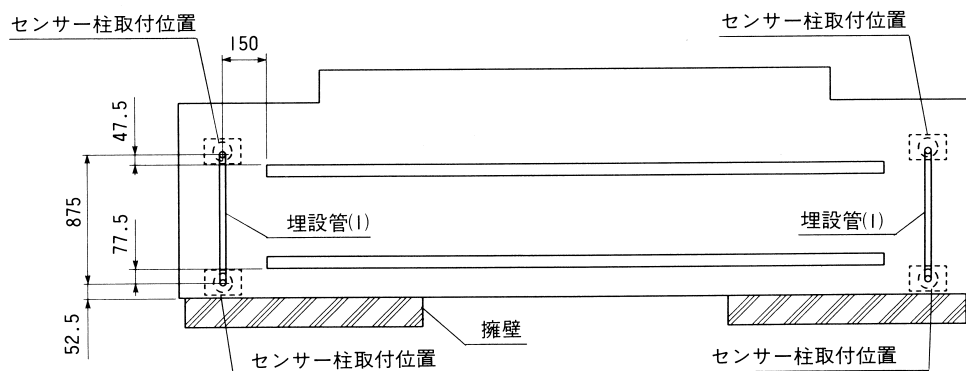
① センサー柱の取付け

- 下図に従いセンサー柱を取付けて下さい。

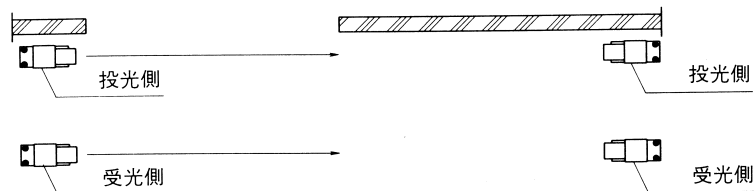
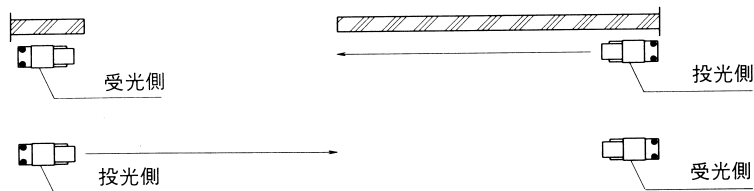
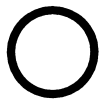
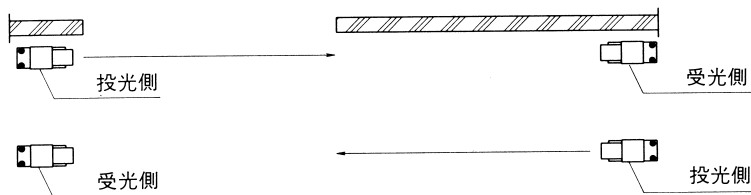
片開き



両開き



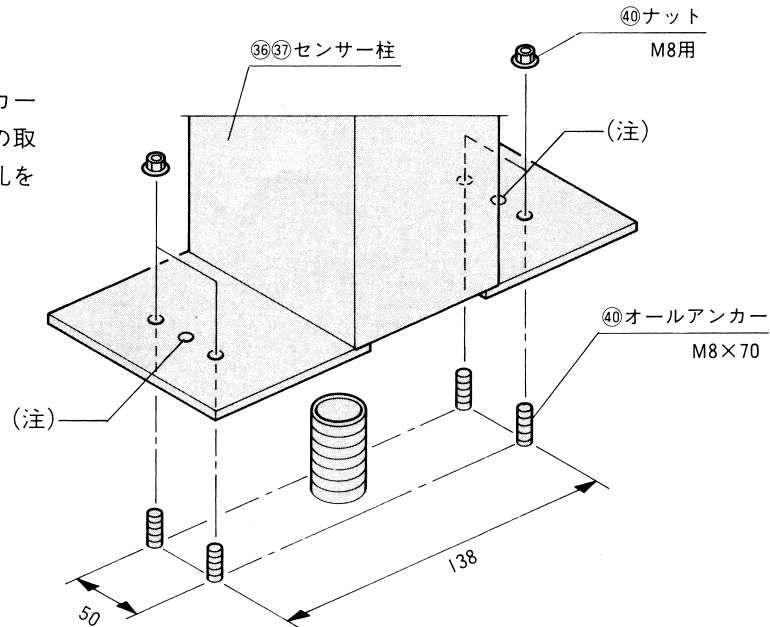
- その際センサー柱の投光側と受光側が、互い違いになる様に取付けて下さい。



- 下記寸法にて孔を開け、オールアンカーを打ち込んで下さい。

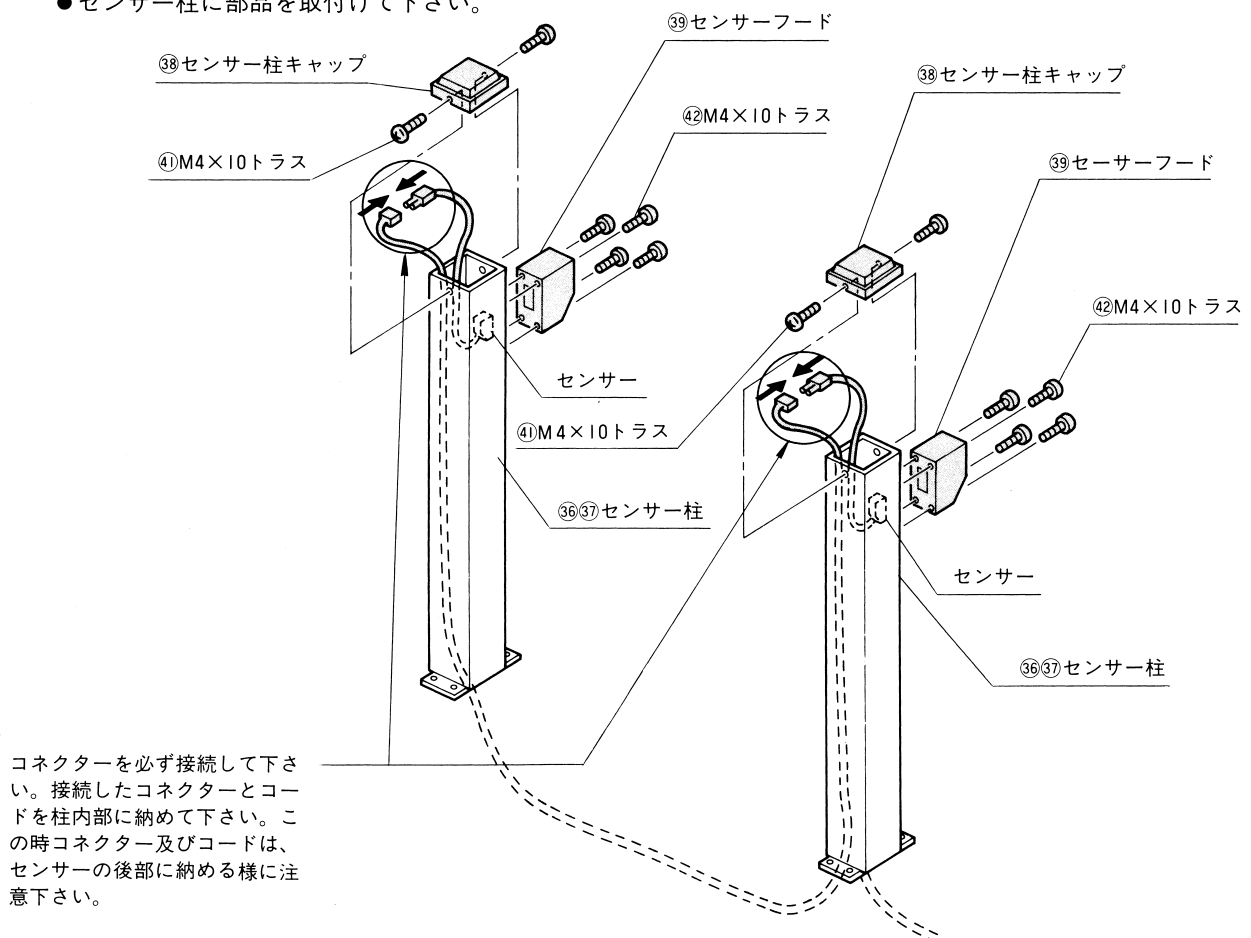
(注)

壁等が接近していて、アンカーが打ち込みづらい時は真中の取付孔を使用し、アンカーの孔を開けて取付けて下さい。



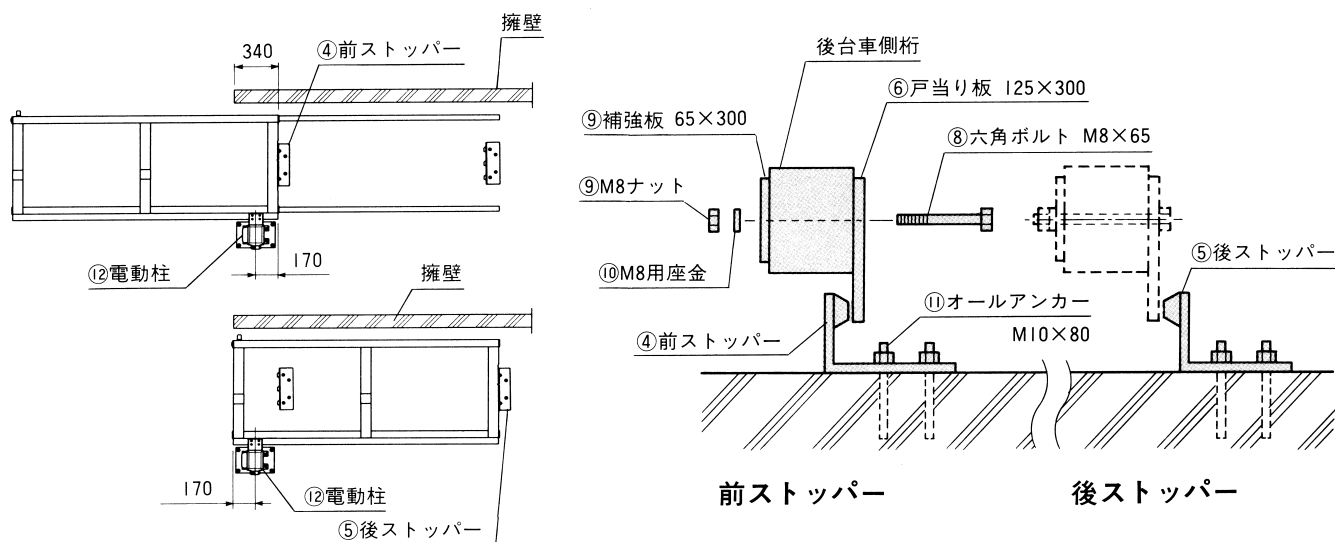
2配線及び部品の取付け

- センサー柱に部品を取付けて下さい。



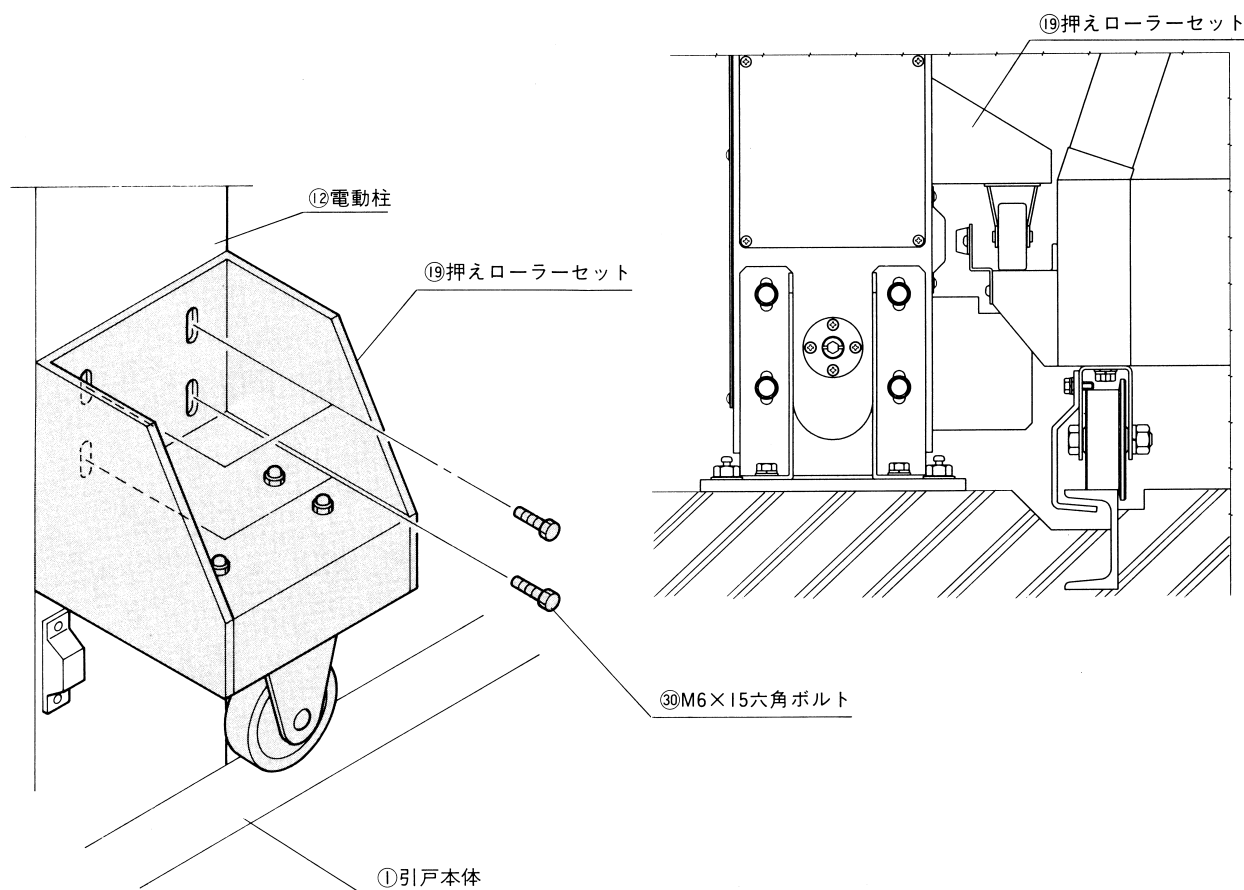
7. 前後ストッパーの取付け

- 下記位置で引戸が停止するように、前後ストッパーを取付けて下さい。



8. 押えローラーセットの取付け

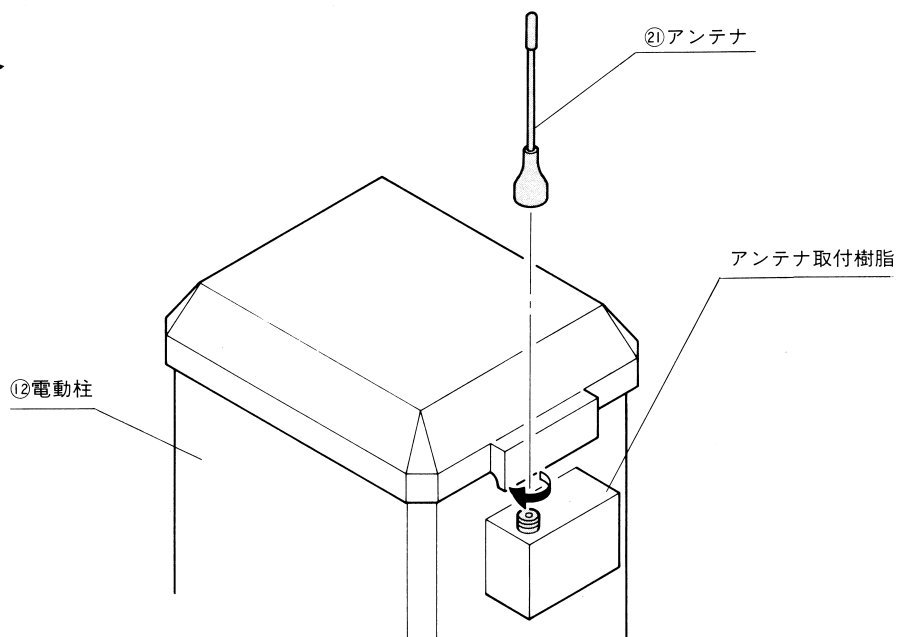
- 引戸本体が浮かない様に押えローラーセットを取付けて下さい。



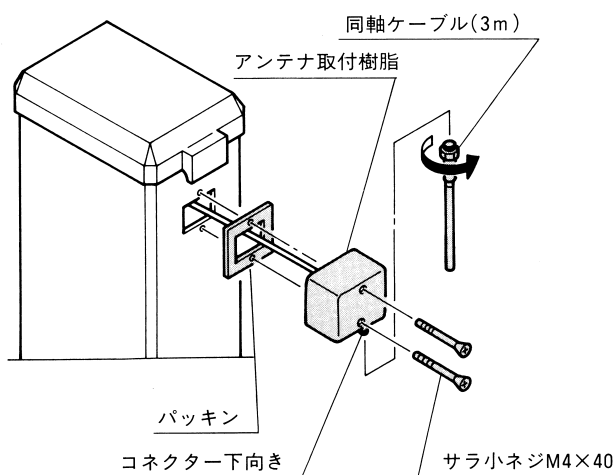
9. リモコン送信器アンテナの取付け

- 使用環境の違いによりリモコン到達距離が短くなる場合があります。その場合はオプションのアンテナ延長ケーブルセットを御使用下さい。

① 本体に取付ける場合

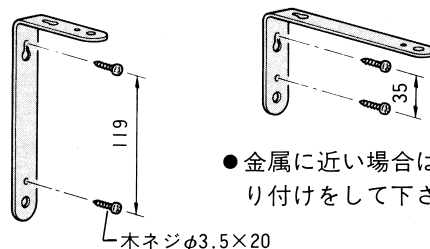


② 延長ケーブルを使用する場合



(3) アンテナ取付台を壁に固定して下さい。

- 取付金具をできるだけ高く金属の構造物から離れた位置に取り付けて下さい。



- 金属に近い場合は図のような取り付けをして下さい。

- 下図のように取付金具を取付けないで下さい。



(1) アンテナ取付樹脂をはずしコネクターが下向きになるように、再度取付けて下さい。

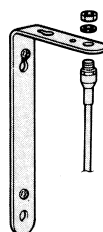
(2) 延長ケーブルを取付けて下さい。

注意：コネクターを下向きに付けない場合故障の原因となりますので注意して下さい。

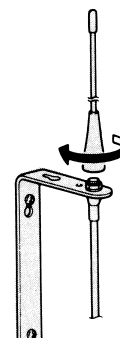
：アンテナ取付樹脂は無理に引っ張らないで下さい。

：延長ケーブルを取付ける場合には必ずアンテナ取付樹脂に取付けて下さい。

(4) ケーブルを取付けます。
ケーブルの長さは3mあります。



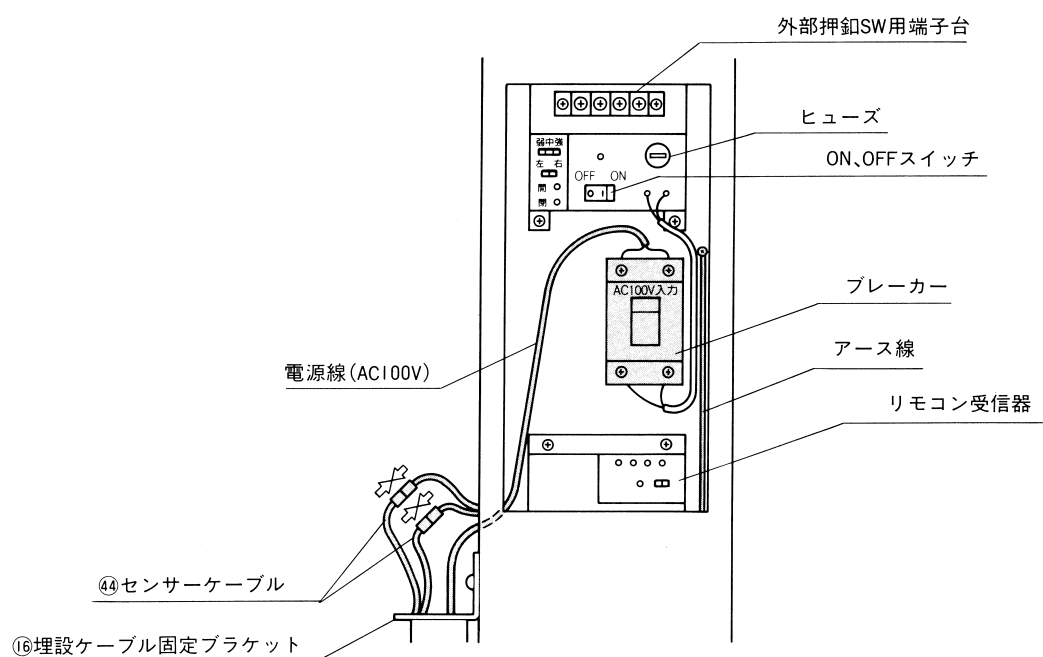
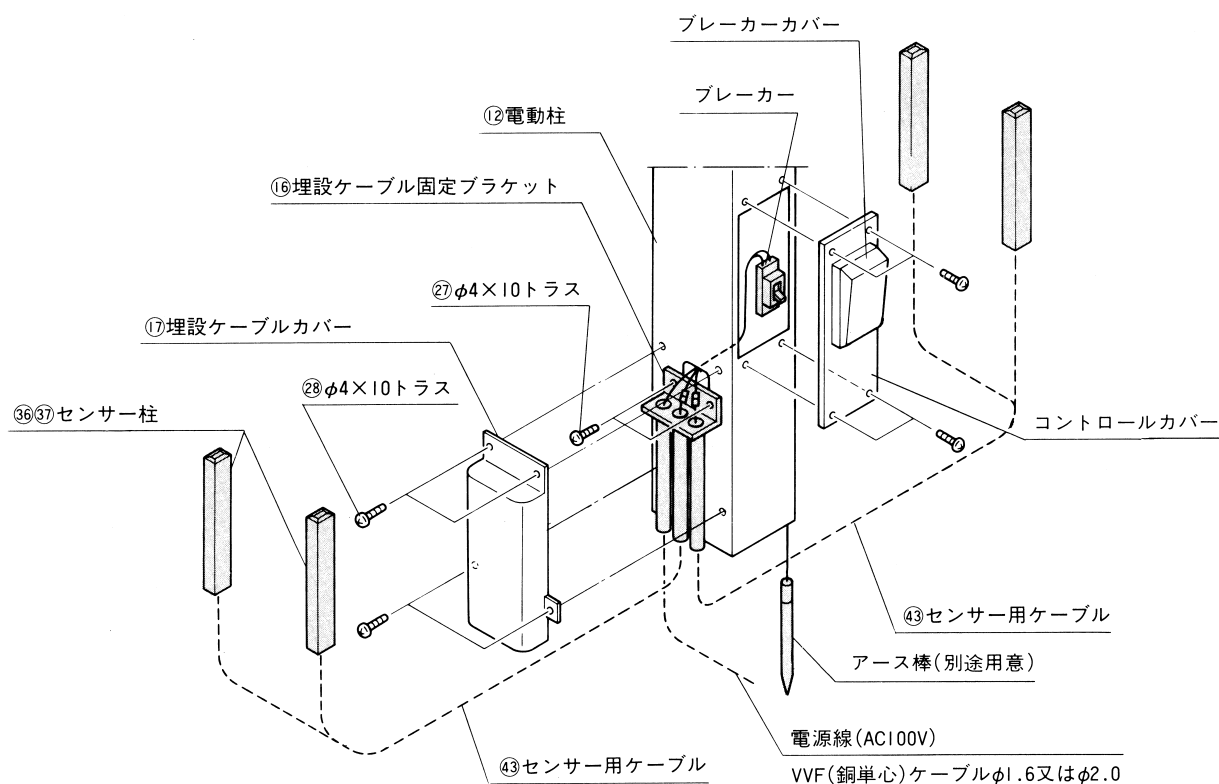
(5) アンテナを取付けます。



10. 電動柱の配線方法

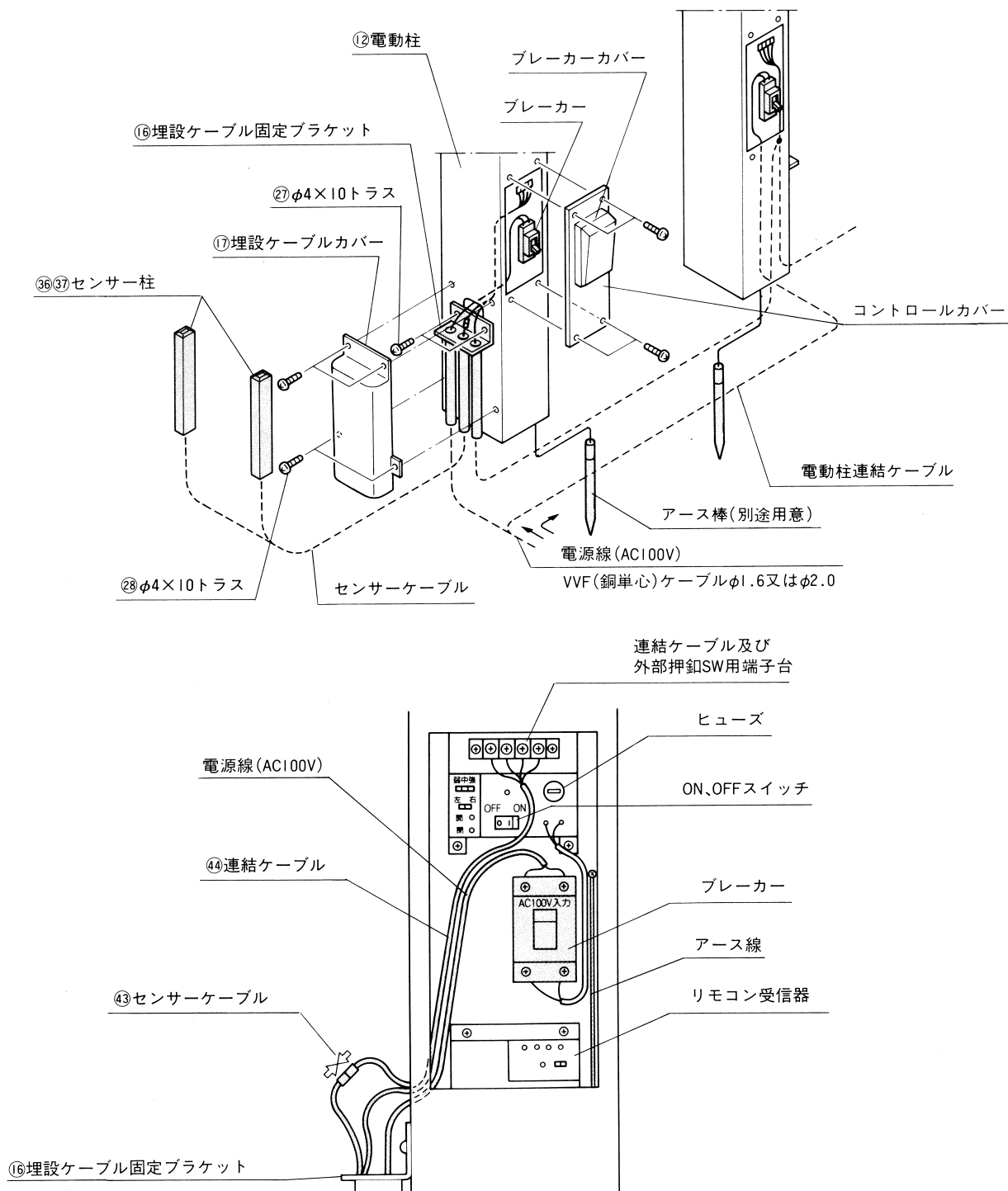
1 片開き

- ① 埋設ケーブル固定ブラケットを電動柱に取付け、ブラケットに埋設管を固定して下さい。
- ② コントロールカバーをはずし、電源線(AC100V)を柱の中に通し、ブレーカーにつないで下さい。
- ③ 各センサー柱からきているセンサー用ケーブルのコネクターを、電動柱から出ているコネクターに接続し、電動柱の中に押し込んで下さい。(※コネクターは各センサー共通です)
- ④ 第3種接地アース工事を行なって下さい。
- ⑤ すべての結線が終了しましたら、コントロールカバー、埋設ケーブルカバーを取付けて下さい。



2 両開き

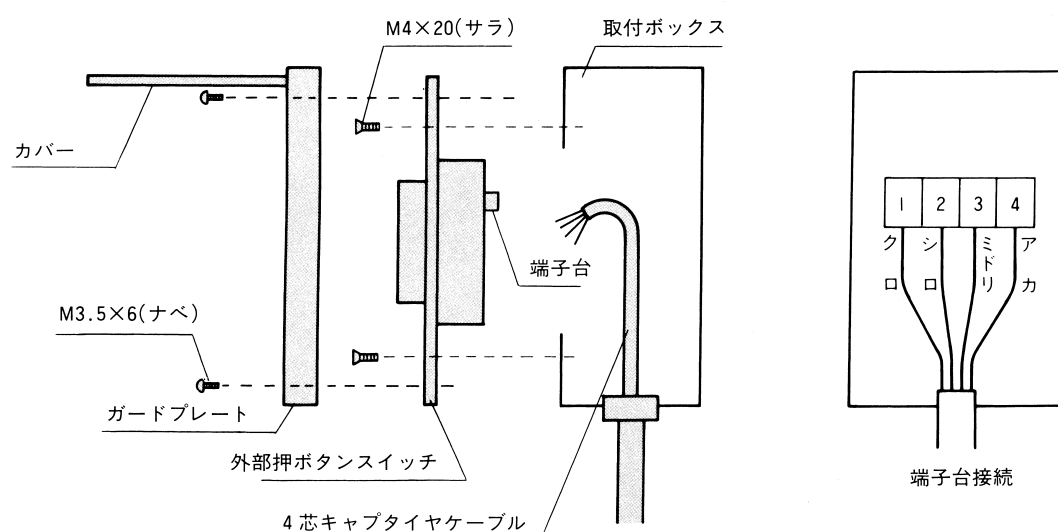
- ①埋設ケーブル固定ブラケットを電動柱に取付け、ブラケットに埋設管を固定して下さい。
- ②コントロールカバーをはずし、AC100V線を柱の中に通し、ブレーカーにつないで下さい。
- ③各センサー柱からきているセンサー用ケーブルのコネクターを、電動柱から出ているコネクターに接続し電動柱の中に押し込んで下さい。
- ④電動柱連結ケーブルを柱の中を通し、外部押ボタンスイッチ用端子台につないで下さい。
- ⑤第3種接地アース工事をこなして下さい。
- ⑥すべての結線が終了しましたら、コントロールカバー、埋設ケーブルカバーを取付けて下さい。



③外部押ボタンスイッチ(オプション)の配線

(※付属の端子台は使用しませんので破棄して下さい。)

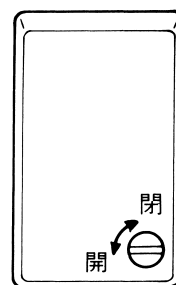
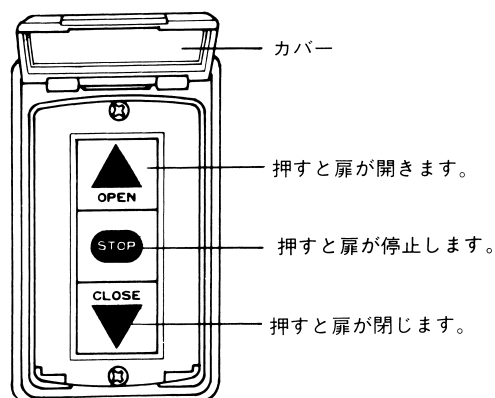
- ① 取付ボックスは市販のスイッチボックス(1ヶ用)を使用して下さい。
- ② 外部押ボタンスイッチの端子台にキャプタイヤケーブル(4芯)を図のように接続して下さい。
- ③ 外部押ボタンスイッチを取付ボックスに固定して下さい。
- ④ ガードプレートを外部押ボタンスイッチに取り付けて下さい。
- ⑤ ガードブレーカー外周をシーリングして下さい。



ポイント

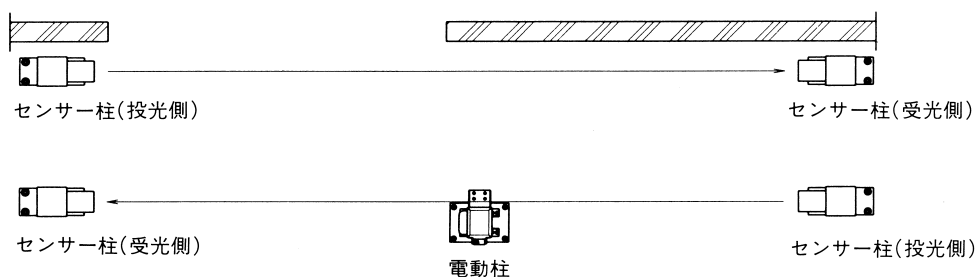
プラスドライバーにて隣接端子と接触しないように確実に接続して下さい。

外部押ボタンスイッチ



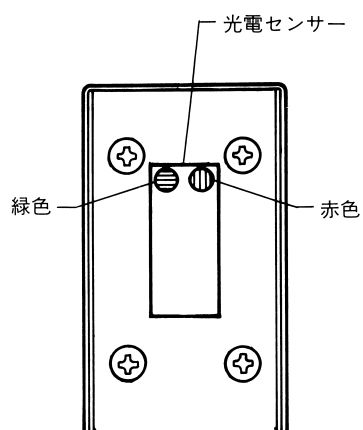
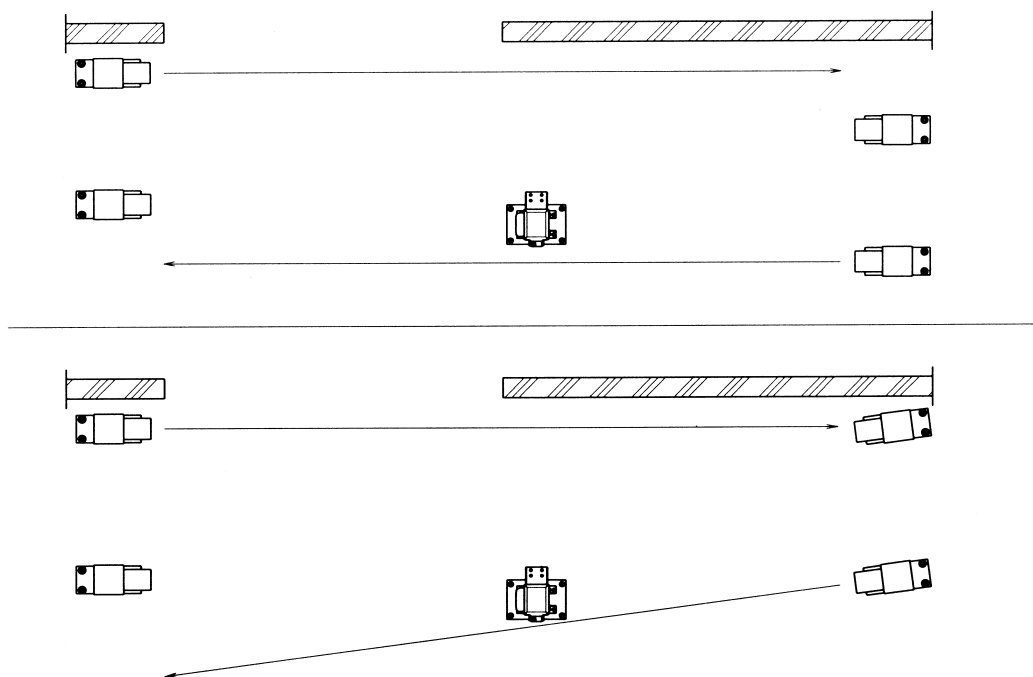
- 外部押ボタンスイッチのカバーには保安のために簡易錠がついています。コイン等で表示の方向へつまみを回転させますと、カバーは開錠、施錠します。

11. センサーについて



● 電動柱は安全の為、光電センサーにて引き戸の周りに障害物がない事を確認しながら開閉を行います。

注) センサーの特性上、下記の様な組み付け時には、センサーが誤動作したり、引き戸が開閉しなくなりますのでセンサーは必ず光軸を合わせて下さい。

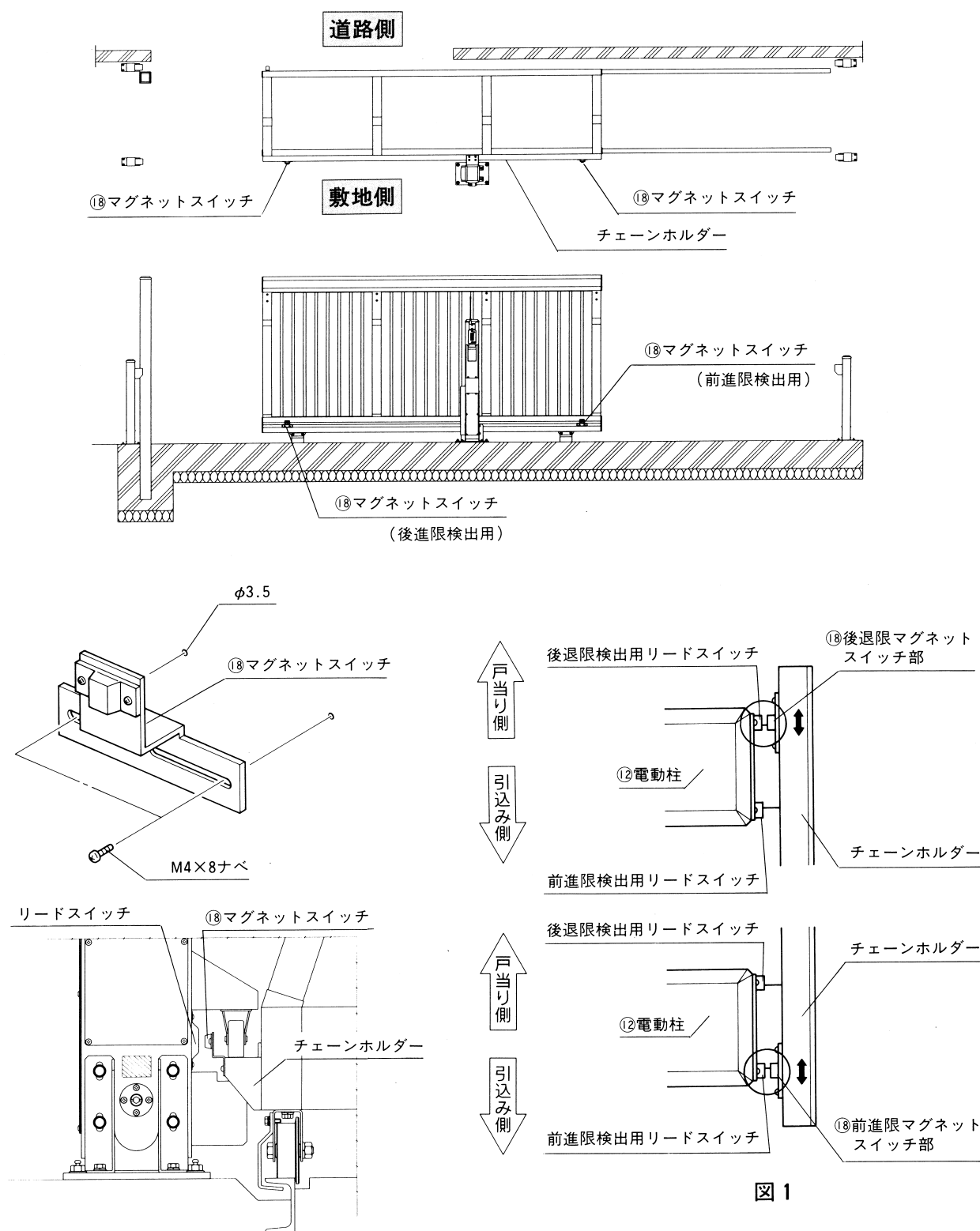


● 光軸にあわせる様に組み付けて下さい。

緑色のみ点灯している時……………光軸が一致している状態

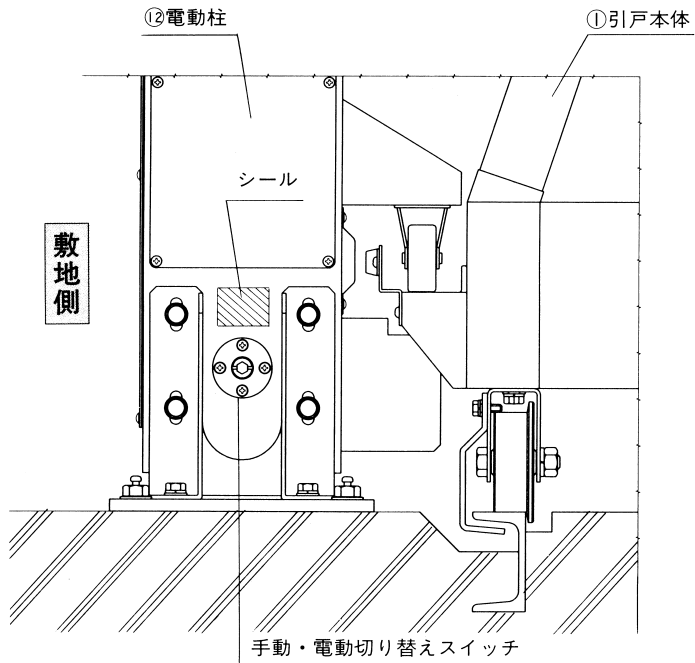
緑色と赤色が点灯している時……………光軸が一致していない状態

12. マグネットスイッチの取付け



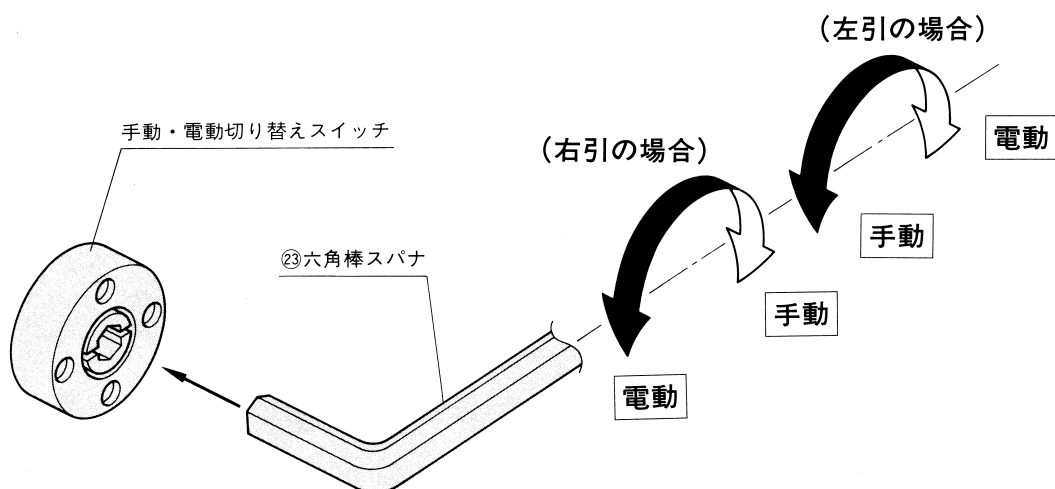
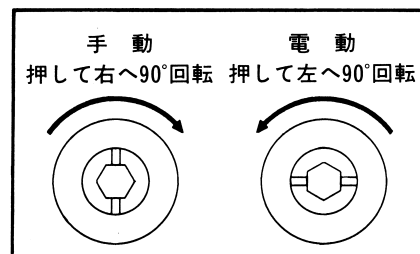
- 台車のチェーンホルダー両端の図の位置にマグネットスイッチを取付けて下さい。
マグネットスイッチ裏面には仮止めの両面テープが貼ってありますので、まず目測で図 1 の位置になるよう取付け実際に動かしてみて位置を決めて下さい。
その際リードスイッチとマグネットスイッチの中心があうように取付けて下さい。位置が決まりましたらドリルで下孔(φ3.5)をあけ、ネジで固定して下さい。

13.手動と電動の切り替え方法について



- 電動柱は工場出荷時は安全の為、手動に切換えてあります。電動で動かす場合には柱に貼りつけられたシールに従って付属の六角棒スパナで切換えて下さい。

※このシールは右引のものです。



- 施工店様へ 六角棒スパナは、施工後必ず施主様に御渡し下さい。

14.使用方法

14-1 リモコン送信器での操作方法

リモコン送信器の押ボタンを押して扉を開閉して下さい。

①電源ボタンを押してください。動作表示灯が点滅します。

〈注 意〉

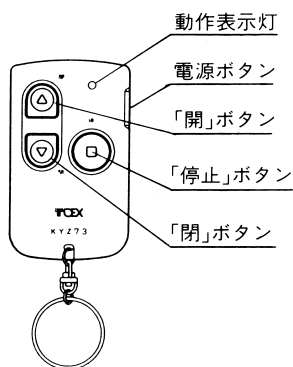
- ・動作表示灯の点滅時間は約15秒間です。15秒を経過すると点滅は自動的に消え②の操作をしても送信が行われなくなります。

②動作表示灯点滅中に「開」ボタンを押すと、動作表示灯が点灯し扉が開きます。
・途中で停止させるときは、「停止」ボタンを押します。

③動作表示灯点滅中に「閉」ボタンを押すと、動作表示灯が点灯し扉が閉じます。
・途中で停止させるときは、「停止」ボタンを押します。

〈注 意〉

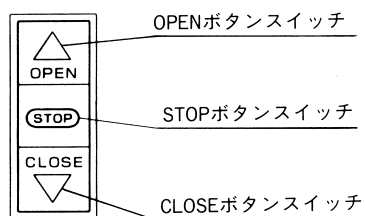
- ・リモコン送信器の実用到達距離約10m以内で操作して下さい。
- ・開／閉動作中に、逆方向の閉または開動作をさせるときは、必ず一度「停止」ボタンを押してから、次の押ボタンを押して下さい。
- ・「停止」ボタンだけは、電源ボタンを押さなくても送信が可能となっています。



MD-3リモコン送信器

14-2 電動柱押ボタンスイッチでの操作方法

電動柱に付いている押ボタンスイッチを押して扉を開閉して下さい。

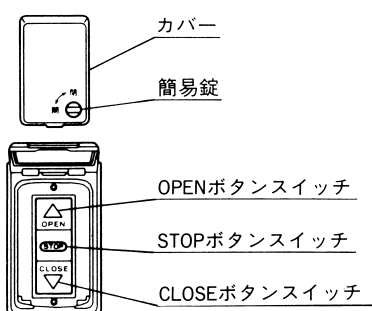


押ボタンスイッチ

- ①OPENボタンスイッチを押すと扉が開きます。
- ②STOPボタンスイッチを押すと扉が停止します。
- ③CLOSEボタンスイッチを押すと扉が閉じます。

14-3 外部押ボタンスイッチでの操作方法(オプション)

道路側に付ける外部押ボタンスイッチを押して扉を開閉して下さい。



外部押ボタンスイッチ

- ①簡易錠をコイン等で開位置(溝が水平)まで回してカバーを開けます。
- ②OPENボタンスイッチを押すと扉が開きます。
- ③STOPボタンスイッチを押すと扉が停止します。
- ④CLOSEボタンスイッチを押すと扉が閉じます。
- ⑤カバーを閉め、簡易錠をコイン等で閉位置(溝が垂直)まで回し施錠します。

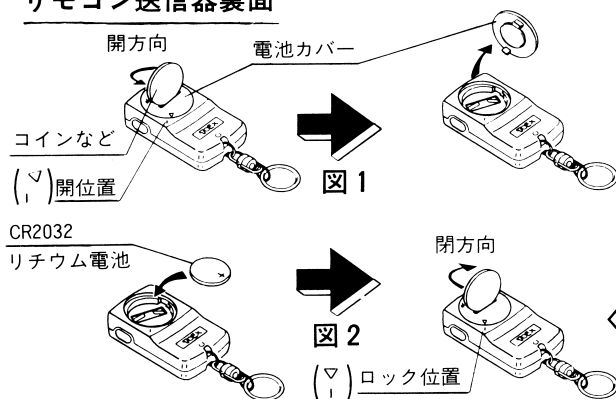
15. リモコンについて

■リモコン送信器の実用到達距離は約10mなのでその範囲内で操作をして下さい。

15-1 電池の入れ方

送信器はコイン型リチウム電池(CR2032)を1個使用します。出荷時、電池は部品として本体と同梱されています。

リモコン送信器裏面

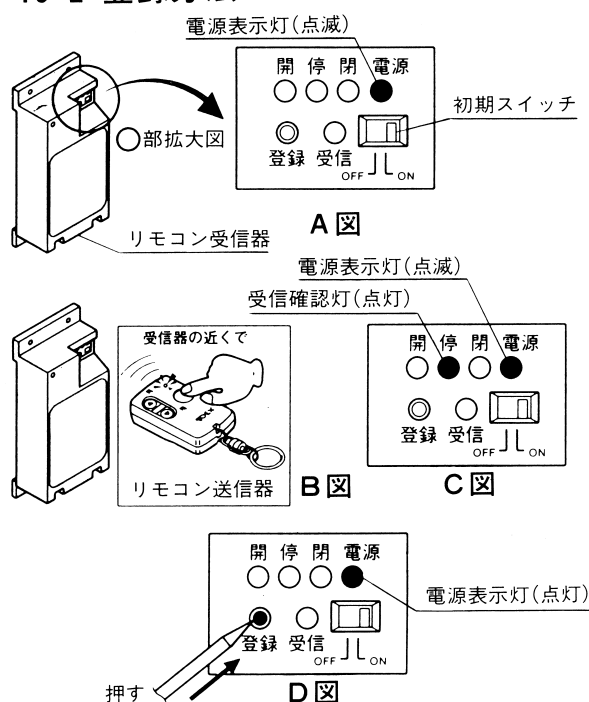


- ①送信器裏側、カバーの溝にコイン等を差し込み、矢印方向に回して電池カバーを外します。(図1参照)
- ②電池は「+マーク」が見える向き(上側)ではめ込みます。(図2参照)
- ③電池カバーを、外した位置で差し込み、コイン等で矢印方向(時計方向)に回し閉めます。(図2参照)

<注意>

- ・「マーク」を合わせます。「締め忘れ」に注意してください。(図2「ロック位置マーク」参照)

15-2 登録方法



- ①電動柱のコントロールカバーをはずします。
- ②リモコン受信器の初期スイッチを「ON」側にして、電源表示灯(緑色)を点滅させます。点滅しない場合は、初期スイッチを一度「OFF」にして、もう一度「ON」側にします。(A図参照)
- ③リモコン送信器の「停止」ボタンを、受信器近くで押して登録します。受信確認灯「停」が赤色点灯し送信器登録が完了します。(B、C図参照)
- ④リモコン送信器の登録操作後、受信器の「登録スイッチ」をボールペンの先などで押して登録、または電源表示灯の点滅が「点灯」に変わるまで待ちます。「点灯」表示で受信器登録が完了します。(D図参照)
- ⑤はずしたコントロールカバーを取付けます。

<注意>

- ・受信器への登録は、必ず電源表示が「点滅している1分間」に操作して下さい。

15-3 追加登録方法

- ①リモコン受信器の登録スイッチをボールペンの先端などで押して電源表示灯を点滅させます。(D図参照)
- ②「12-2 登録方法」の③、④の操作をして下さい。
 - ・リモコン受信器1台でリモコン送信器16台まで登録できます。
 - ・複数のリモコン送信器をご使用になる場合は、別売り品のリモコン送信器セット(KYZ73)をお求め頂き上記手順でセットして下さい。

<注意>

- ・「リモコン登録抹消」以外の目的で、初期スイッチを「OFF」にした場合、登録している送信器はすべて操作できなくなります。

15-4 登録取り消し方法

- ①すべての登録を取り消す場合は、リモコン受信器の初期スイッチを「OFF」側にします。

16. 施工後の点検

引戸本体の確認

- すべての部品の取付け調整が完了しましたら、電動柱下部のクラッチ解除レバーを再度手動にして、引戸本体がスムーズに作動するか確認して下さい。
- 次にクラッチ解除レバーを電動にして引戸を作動させて下さい。前部、後部ストッパーに引戸が当たる直前に駆動モーターが切れるタイミングになる様、マグネットスイッチを調整し直して下さい。
- 調整が終わりましたら再度電動で引戸を作動させ開状態、閉状態でクラッチ解除レバーを手動に切換えて下さい。スムーズに出来れば調整終了です。

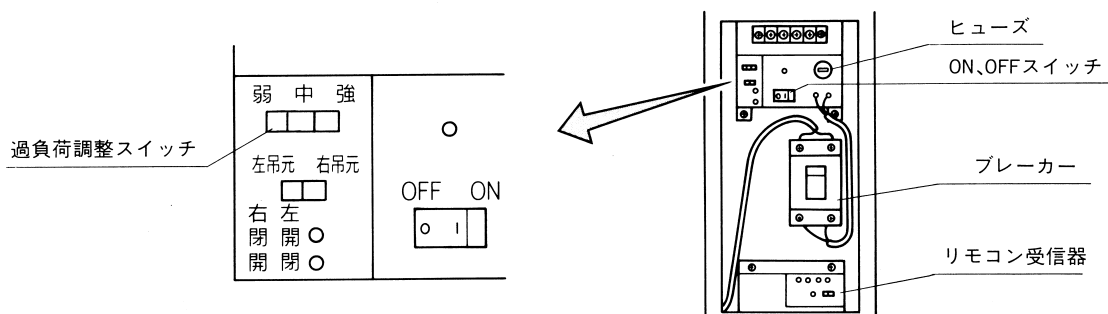
安全装置の確認

(1)光電センサー

- センサー柱内に透過型光電センサーを組み込まれていて(GLから635mm)、障害物を検出した場合引戸は停止します。センサーの確認方法として、手などでセンサーを遮光し引戸が確実に停止するかテストを行って下さい。停止後は引き続き開閉操作を行うと引戸は作動します。

(2)回転センサー

- 回転センサーによる過負荷検出が可能な装置が組み込まれています。引戸が閉じる方向に動いている途中で、障害物等にぶつかり停止した場合、約2秒後にスイッチが切れ約15cm後退して停止します。開く方向に動いている途中で停止した場合には、約2秒後にスイッチが切れその位置で停止します。停止後は引き続き開閉操作を行うと引戸は作動します。
- 過負荷検出は調整が可能です。引戸本体が動作途中で停止し、安全装置が作動してしまう場合には、過負荷調整スイッチを“中”又は“強”にして下さい。



仕様

電 源	AC100V(50/60Hz)
消 費 電 力	100W(操作時)
モ ー タ ー	40W
リモコン到達距離	見通し距離 10m
周 囲 温 度	-10℃～60℃
開 閉 速 度	23cm/秒(50Hz)、27cm/秒(60Hz)
操 作 方 法	押ボタンスイッチ、リモコン

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタル等は完全に拭き取って下さい。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意下さい。
- みだりに製品の改造、変更はしないで下さい。
- 施工終了後、取付説明書は施主様へお渡し下さい。
- 御使用いただきましてありがとうございます。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は水にぬらした柔いぞうきんで拭き取って下さい。また汚れのひどい場合はうすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取って下さい。

取説コード

D237

IF-E①
IF-I②